

TAC弁理士講座専任講師 弁理士湯浅の“息抜き”コラム



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

弁理士試験合格を目指す!【TAC湯浅クラス向けメールマガジン】

隔週で配信中です!登録はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001609627.html>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「短答対策編 第1回 ～ 短答は「条文」の試験って、どういう意味? ～(全8回)」

今回から始めました

TAC弁理士講座専任講師 弁理士 湯浅の”息抜きコラム”

勉強の合間のちょっとした「息抜きに」ご覧いただければ幸いです

初回のテーマは、ずばり、
短答対策
です。

受験勉強のちょっとした息抜きになれば幸いです

さて、それでは、さっそく始めます

初学者の方の多くは、短期での最終合格を目指される方が多いと思います。

自分を鼓舞するためであったり、受験機関のカリキュラムがそもそもそのようになっていたり、
様々な理由から、短期での最終合格を目指されます
(当然、私もそのようなモチベーションで受験勉強をしていました。)

「3年かけて合格しようと思っています」という方と、「今年1年で最終合格まで一気に決めます!」という気持ちの方とでは、戦略云々以前に、「やる気」が異なります。

その意味でも短期間(1～2年)で最終合格を目指す、という姿勢は極めて自然な考えだと思います。

しかし、1点注意があります。

仮に1年で最終合格を目指す場合、1年間で「短答対策、論文対策」をやりきる必要があります

1次試験である短答式筆記試験の勉強が疎かになるほど、2次試験である論文式筆記試験の勉強をしてしまい、その結果、1次試験に落ちてしまう方が少なからずいらっしゃるということです。

あくまでも、初年度受験の方の一番の目標は、

「何をしてでも、短答式試験に合格する(免除を勝ち取る)」

になります。

そもそも、短答に合格できなければ、論文式試験を受験する資格が与えられないためです。

精神論としての高い目標と、現実的な戦略・戦術論とをうまく切り分けて、バランスの取れた学習をしていただきたいと思っています。

以上のような背景を前提として、次回から、「短答の勉強法」について考えていきましょう。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

次回のコラムは、**2015年1月14日水曜日**に掲載予定です

お楽しみに！

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

弁理士試験合格を目指す!【TAC湯浅クラス向けメールマガジン】

隔週で配信中です!登録はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001609627.html>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★